

# 幼稚園の自由

紹介子

自由の意味及びその限界に就ては現今の教育界殊に幼児教育界に於て非常な興味を以て研究せられて居ります。自由といふことゝ氣隨氣儘といふ

こととは全然異つた二つの事柄でありまして、これを一緒にして了ふやうな輕率家はもう絶無であるべき筈でありますが、事實は未だその域までは達してゐないのであります。自分で自分が自由にならないやうでは本當の自由を領得してゐるものとは言はれないといふやうな最高の自由説は前の誤つた自由説に妨げられて却々一般には行き互らないやうであります。

若しも我々がこの自由の概念を實際の教育なり行爲なりに翻譯することが出来るならば自由といふことゝ訓練といふこととは同一問題を二つの面

から見てゐるに過ぎないといふことが領解せらるるであります。

自由を重んぜよといふやうな言説はもう耳が痛くなる程聞かされました。種々の標題の下にこの記事は雑誌に散見します。十九世紀の中頃から既にバツテイ・ヒル教授が自由活動の教育的價値を實驗して居るのでありますが誰も注意を拂ふものはありませんでした。しかしこの數年來幼児教育に於て大いに自由の重んぜらるべきことが説かれるやうになりました。而して教育者は幾度も演壇に立つて自由に就て論じました。けれども悲しいことには事實に於てはこの自由は少しも行はれては居りません。

自由遊びと言つてもいろいろの意味に用ひられ

て來てゐます、小學校のやうに一定時間の間勉強をしてその時間と時間との間に自由遊びの時間といふものを設けるのもあります。それから又課業の後に材料を用ひて行ふ自由遊びと言ふのもあります。これは先生の方に一定の方針があつて行つて居るのでありますから全然自由遊びと稱するわけには行かないわけであります。

それから自由遊びの形式はもう一つあります。

それは一週間に一度自由日といふやうなものを定めるのであります。而してこの日には先生の意志は少しも入らずに全く幼児等自身の選擇によつて遊びが行はれるのであります。亞米利加の某幼稚園ではこの方法を採用して少し形を變へて自由遊びを行つて居ります。それは斯うであります。一週に一度朝幼児達が園へ來ますと各自の机の上に乗る玩具や材料が載せてあります。幼児達はこれらの玩具や材料を以て自由に遊ぶのであります。もし其處に出て居る玩具で嫌らなければ戸棚を探し

て他の玩具や材料を引き出して來ても差支ないことにしてあるのであります。この自由遊びの時間は最初は一週に一度といふことに制限されて居りました。

尤もこの最後に擧げた方法は嚴密に言ふと自由遊びとは言はれないかも知れませんが、幼児の興味がその思ひのまゝの形式を、例へば遊びでも仕事でも又もつと能動的に本や繪や觀察やに引き入れられることでも何でもいゝ、好きな形式に耽つていゝ時間といつた方が一番正しいわけでありまして、室の中は全然幼児達の支配に屬します、保母はホンの僅かばかり干渉もしますし、暗示もします。しかしそれは無論幼児の自由を妨げる性質のものでないことは言ふまでもありません。傍に附いてゐる保母はこの間に幼児の態度や周圍に對する仕方などを十分に觀察することが出來ます。